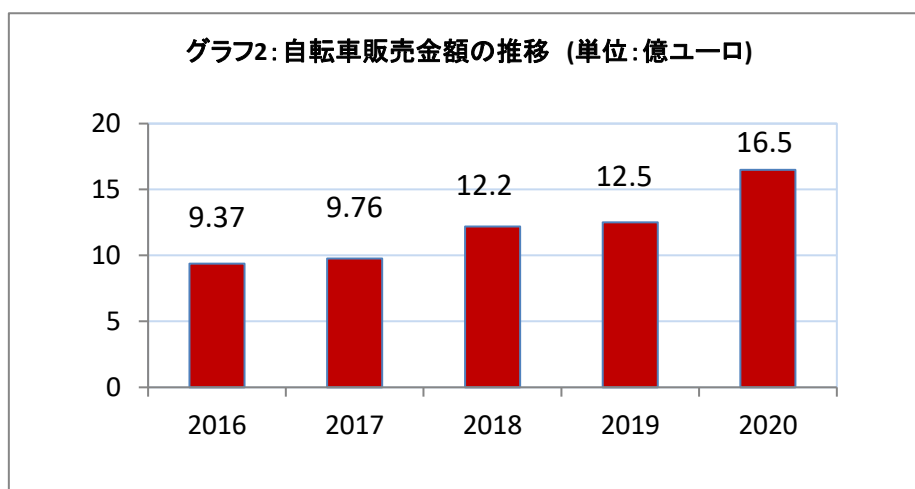
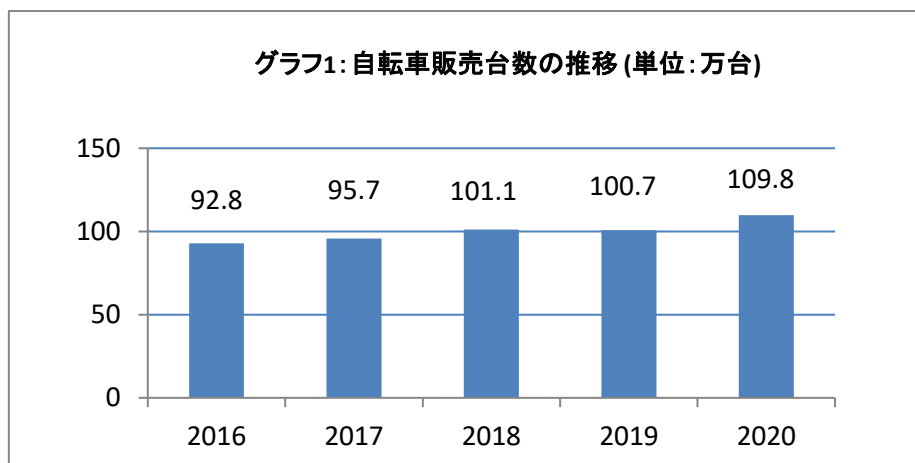


オランダ自転車市況-2020

1. 販売動向

RAI Vereniging(オランダ車両工業会、以下 RAI)、BOVAG(オランダ自動車自転車商業組合)によると、オランダの自転車販売台数は、2020 年は前年比 9%増の 109.8 万台となり、1 割弱増加した。また、2020 年の自転車販売金額は、前年比 31.5%増の 16 億 4,635 万ユーロ(2,140 億 2,615 万円「換算レート 1 ユーロ=130 円」以下同じ)と 3 割強増加している。

RAI は「コロナ危機が、2020 年のオランダでの自転車販売に大きな後押しをもたらした。特に、電動アシスト自転車(EPAC)の販売台数は、前年比 30%以上増加して 54.7 万台に達した。その結果、販売金額も 30%以上増加し、16.5 億ユーロの大記録を達成、2010 年と比較して 2 倍となった」と EPAC の販売好調を強調している。



2020年の自転車平均販売価格は、EPAC販売好調により自転車販売業全体では前年比20.6%高の1,499ユーロ(194,870円)に上昇した。従来から高額商品の取り扱いが多い自転車小売専門店は前年比17%高の1,548ユーロ(201,240円)となり、1,500ユーロ(195,000円)を超える額に達した。

表1：平均販売価格の推移（単位：ユーロ）

年	2016	2017	2018	2019	2020
平均価格(全体)	1,010	1,020	1,207	1,243	1,499
平均価格(自転車小売専門店)	1,091	1,086	1,222	1,323	1,548

2. 業態別、価格帯別販売動向

2020年の業態別売上台数比率は、「自転車小売専門店」と「量販店、スーパーなど」の比率は前年同様となった。自転車小売専門店の比率はここ数年7割を維持している。

また、RAIはインターネット販売について「3年前、自転車販売金額全体の23%以上がインターネット販売で、EPACに限ってはインターネット販売の占める割合は27%を超えていたが、2020年のインターネット販売は自転車販売金額全体の10%に落ち、EPACでインターネット販売の占める割合は僅か8%に落ち込んでいる。これはインターネット販売と実店舗販売のネットワーク化がますます進んでいるためである」と専門店での販売率の高さを強調している。

表2：業態別売上台数比率の推移

販売形態	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
自転車小売専門店	76%	79%	74%	73%	71%
量販店、スーパーなど	24%	21%	26%	27%	29%

2020年の価格帯別売上台数比率は、300ユーロ(39,000円)以下の最低価格帯は前年より1ポイント増の10%となった。それに次ぐ低価格帯301~499ユーロ(39,130~64,870円)は前年より2ポイント減の9%となった。更に中価格帯の500~699ユーロ(65,000~90,870円)も3ポイント減の14%となり、低・中価格帯の落ち込みが目立った。

高価格帯700~899ユーロ(91,000~116,870円)は前年より1ポイント減の12%となったが、最高価格帯900ユーロ(117,000円)以上は、6ポイント増の55%と前年より更に比率を上げ、全体の半数を超えた。

表 3: 価格帯別売上比率の推移

価格帯(EURO)	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
300以下	11%	11%	12%	9%	10%
301～499	16%	19%	14%	11%	9%
500～699	22%	21%	19%	17%	14%
700～899	15%	13%	13%	13%	12%
900以上	35%	36%	42%	49%	55%

3. 車種別販売動向

2020 年の車種別売上台数比率は、シティ車(ダッチバイク)を含む一般用自転車は、前年より 7 ポイント減少の 26%となった。ハイブリッド車(クロスバイク等)、子供車はそれぞれ前年より 1 ポイント減少している。一方、年々比率が上昇している電動アシスト自転車(EPAC)は、前年より 8 ポイント増の 50%と更に増加を続け、最多比率の地位を確実なものとした。なお、2019 年まで「その他」に含まれていた MTB やロードレーサー等が、2020 年は「その他」から分割され表示されるようになっている。

表 4: 車種別売上比率の推移

車種	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
一般用自転車	43%	42%	34%	33%	26%
ハイブリッド車	6%	5%	4%	4%	3%
子供車	12%	12%	11%	11%	10%
電動アシスト自転車	29%	31%	40%	42%	50%
MTB/ATB	-	-	-	-	5%
スポーツハイブリッド/ロードレーサー	-	-	-	-	4%
その他 ※	10%	10%	11%	10%	1%

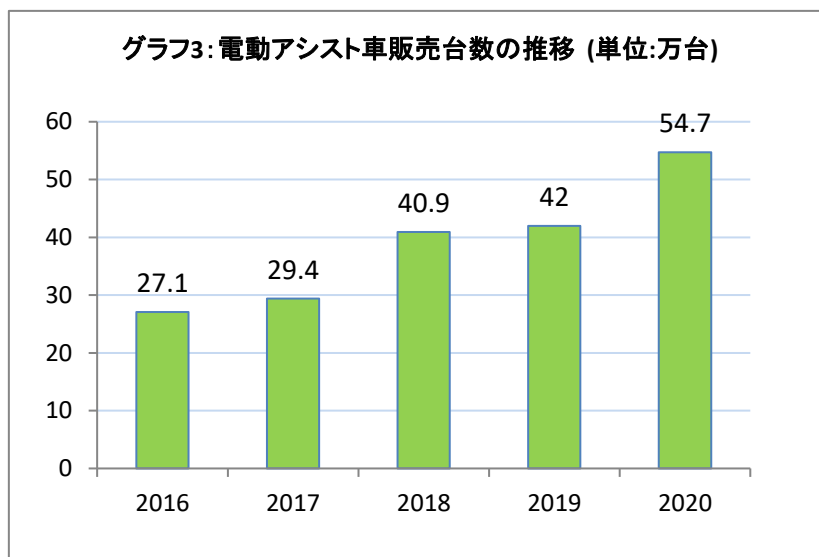
※2019 年までの「その他」には MTB/ATB、ロードレーサー及び折りたたみ車が含まれる。

※2020 年の「その他」には折りたたみ車等が含まれる。

EPAC 販売台数は、2015 年まで増加傾向にあった中、2016 年わずかに減少しピークに達したかと思われたが、その後再び増加に転じ、2019 年は前年比 2.7%増の 42 万台、コロナ危機の 2020 年は前年比 30.2%増の 54.7 万台と大幅な増加を続けている。

RAI は「サイクリングは非常に人気があり、特に EPAC は年々人々に受け入れられている。オランダで 2020 年ほど多くの EPAC が購入されたことはなく、EPAC が全体に占める割合は 2011 年僅か 15%であったのに対し、2019 年は 42%、2020 年は 50%と拡大してい

る。一方、一般用自転車は2020年26%と、2011年に対し半減している。オランダの人々は高品質の高額商品を求めるようになっており、2020年のEPACの平均販売価格は2,259ユーロ(293,670円)と高額であった。こうしたEPAC人気により全体の平均販売価格は前年に対し20%高となり、自転車販売金額全体の75%がEPACから生み出されている」とEPACによる多大な成果を上げている。



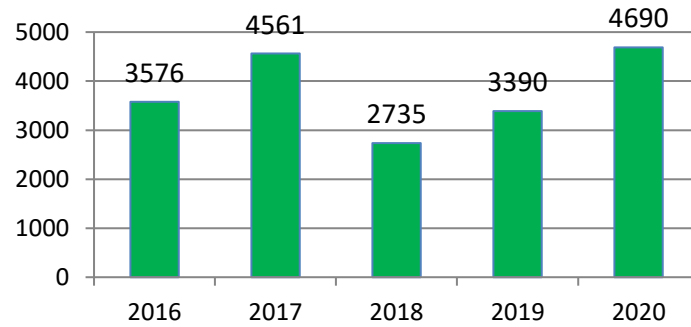
さらに、RAIは「コロナ危機は2020年の自転車産業に影響を及ぼさなかった。多くの旅行者は公共交通機関を避けるか休日は自宅で過ごし、集団でのスポーツも制限されたことから、サイクリングは多くの人に、より短い距離を移動する交通手段として利用された。2020年の3月と4月は、自転車業界全体がオランダはもとよりヨーロッパの封鎖に苦しめられ、供給や売上は減少したが、その後の封鎖緩和により売上は5月から急増し、2020年は自転車業界にとって非常に前向きな年となった」とコロナ効果も上げている。

4. Speed Pedelecs

モーター出力250Wまで、ペダル補助は速度25km/hまでと定められているEPACよりもモーター出力と補助速度が高いSpeed Pedelecsについて、RAIは2015年より販売台数を公表している。同車種の販売台数は、2018年には前年比4割減と大幅に落ち込んだが、2019年には前年比23.9%増の3,390台に、2020年には前年比38.3%増の4,690台に復調している。

2020年のSpeed Pedelecsの販売上位5ブランドは、スイスのストーマーが2017年より首位である。2位は地元ブランドのガゼレ、次いでドイツのリーゼ&ミュラーが続く。ストーマーとガゼレはそれぞれ2種の販売であるのに対し、リーゼ&ミュラーは11種もの多岐にわたり販売されている。

参考1: Speed Pedelecs販売台数の推移 (単位:台)



参考2: Speed Pedelecs 販売上位5ブランドの推移 (単位:台)

	2016年		2017年	
	1	リーゼ&ミュラー	823	ストーマー
2	ストーマー	712	リーゼ&ミュラー	779
3	スパルタ	662	ガゼレ	462
4	ガゼレ	518	スパルタ	414
5	アクセル(パタバス)	125	DUTCH ID	128

	2018年		2019年	
	1	ストーマー	973	ストーマー
2	リーゼ&ミュラー	533	リーゼ&ミュラー	566
3	DUTCH ID	251	ガゼレ	341
4	ガゼレ	205	QWIC	164
5	スペシャライズド	141	クレパー	147

	2020年	
1	ストーマー	1,851
2	ガゼレ	698
3	リーゼ&ミュラー	670
4	アクセルネダランド	293
5	QWIC	245

以上

統計出所: RAI Vereniging /BOVAG